

# EndNote 法学文献パック・ヘルプファイル

---

2012年4月5日 (Version 1.03)

## はじめに

このヘルプファイルでは、EndNote 法学文献パックの使い方を説明しています。

## EndNote 法学文献パックでできること

EndNote は文献管理ソフトの代表格であり、アメリカを中心に広く世界中で使われています。しかし、日本語とドイツ語の法学文献に関するテンプレートが不足しているため、日本の法学研究者が使うには不便でした。この EndNote 法学文献パックは、日本の法学研究者を念頭に置いて、文献のスタイルファイルと CiNii インポートフィルタをあわせて配布するものです。これを使うことによって日本の法学文献の引用スタイルに合わせた出力が可能になり、また日本で広く使われている CiNii のデータベースから、文献情報を EndNote に取り込むことが可能になります。

## 動作条件など

EndNote 法学文献パックは、EndNote X2～X5 (Windows 7/Mac) で動作確認しています。

## I. インストール

EndNote 法学文献パックは次のファイルから構成されています。

- 九州大学 OPAC からのデータインポートフィルタ (CiNii.enf)
- 法律学の日本語文献用のスタイルファイル (Japanese Law.ens)
- 法律学のドイツ語文献用のスタイルファイル (German Law.ens)
- レファレンスタイプテーブルファイル (law.xml)
- EndNote のサンプル文献ファイル・圧縮形式 (sample.enlx)

サンプル文献ファイルは任意の場所に置くことができます。

### 1. スタイルファイル・インポートフィルタのコピー

上記のファイルのうち、スタイルファイル・インポートフィルタは以下のところにコピーして下さい。

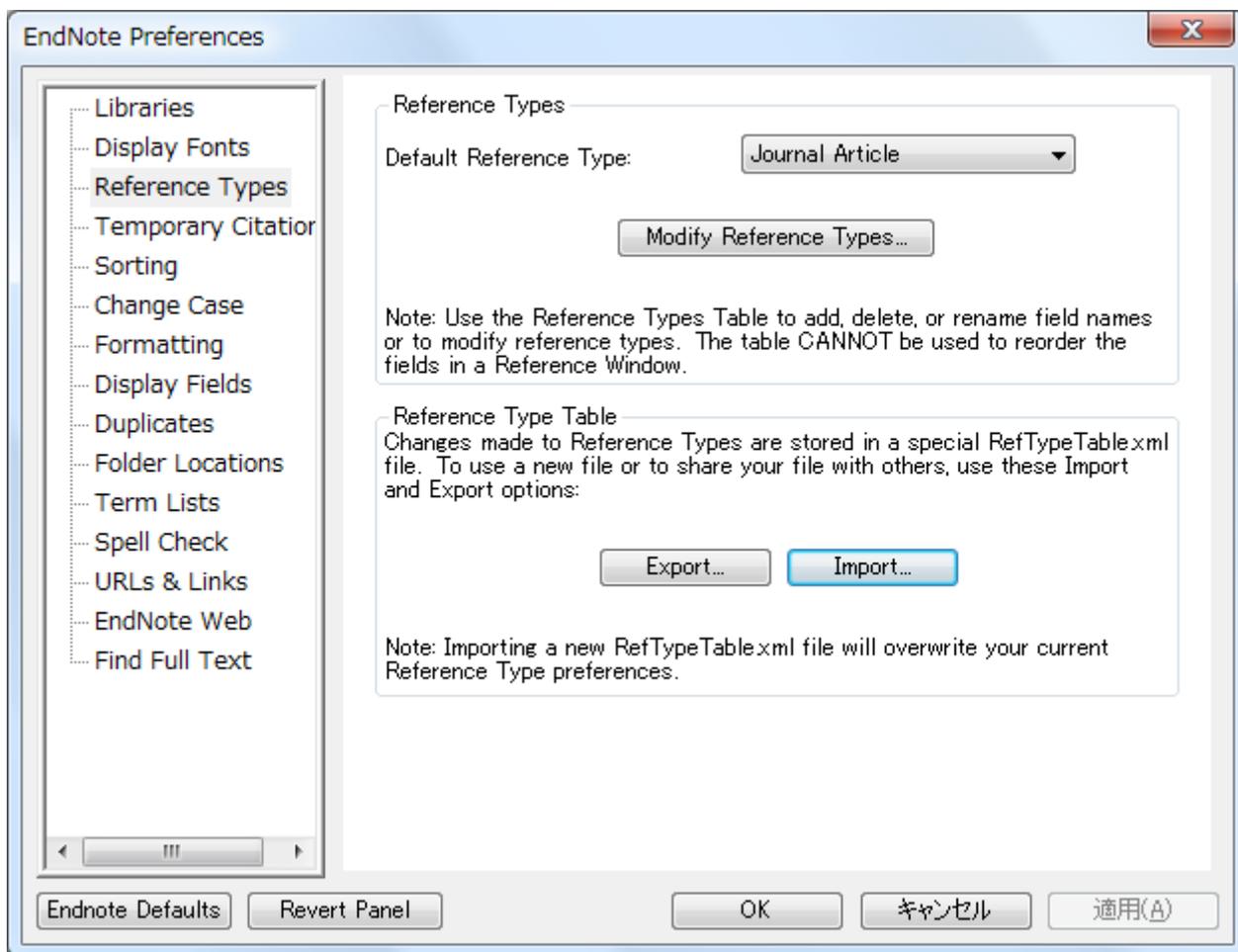
- Japanese Law.ens と German Law.ens  
C:¥Program Files¥EndNote X5¥Styles または ドキュメントフォルダ¥EndNote¥Styles
- CiNii.enf  
C:¥Program Files¥EndNote X5¥Filters または ドキュメントフォルダ¥EndNote¥Filters

EndNote のデフォルトのスタイルファイル・インポートフィルタフォルダまたは、EndNote が作成する個人用の同種フォルダにコピーすれば作動します。

## 2. レファレンスタイプテーブルのインポート

レファレンスタイプテーブルはインポートの作業が必要です。

EndNote の Edit→Preferences で Reference Types を選ぶと、以下のダイアログが表示されます。



Reference Type Table の Import のボタンをクリックし、law.xml を選択すればインポートされます。

## II. 文献データの入力

EndNote のデータ入力の方法は、手作業による入力・データベースからのインポート・データベースへの直接接続の 3 つあります。法学系に関しては直接接続できるデータベースがほとんどないので、実際には手入力またはデータベースからのインポートのどちらかが使われることになります。

### 1. 手作業による入力

手作業による入力は、ツールバーの New Reference ボタン（または References→New Reference）を押して入力ダイアログを表示させることから始めます。

法学文献パックでは次の項目を必須（または任意）の入力フィールドにしています。サンプル文献ファイルを開くと入力の様子が分かります。

日本語文献の場合（括弧のついた項目は任意の入力フィールド）

Reference Type	入力フィールド	説明	入力例
Journal Article (雑誌論文)	Author	論文著者名	山田太郎
	Year	論文の発表年	2009
	Title	論文のタイトル	行政行為論
	Journal	雑誌名	法政研究（九州大学）
	Volume	巻数	76
	Issue	号数	3
	Pages	ページ数	528-550
	(Translated Author)	著者名：外国語表記	Taro Yamada
	(Translator)	翻訳者名	山田次郎
Book (著書)	Author	著者名	山田太郎
	Year	著書の発表年	2009
	Title	著書名	行政法の将来展望
	Publisher	出版社名	星林堂
	(Editor)	編者	山田花子
	(Pages)	ページ数	15-20
	(Edition)	版数	2
	(Translated Author)	著者名：外国語表記	Taro Yamada
	(Translator)	翻訳者名	山田次郎
Book Section (書籍収録論文)	Author	著者名	山田太郎
	Year	発表年	2009
	Title	論文のタイトル	環境アセスメント
	Editor	編者	山田花子
	Book Title	図書タイトル	環境法研究
	Publisher	出版社名	星林堂
	(Series Volume)	シリーズの巻数	2
	(Self Edit)	著者と編者が同じ場合	同
	(Series Title)	シリーズのタイトル	日本の環境
	(Edition)	版数	2
	(Translator)	翻訳者名	山田次郎
	(Translated Author)	著者名：外国語表記	Taro Yamada
	(Original Publication)	初出年	1998
	Pages	ページ数	528-550
	(Caption)	記念論文集等の表示	〇〇教授古稀記念
Newspaper Article	Title	タイトル	政策評価の未来
	(Year)	発表年	2009

(新聞記事)	Newspaper	新聞名	夕日新聞
	Issue Date	日付	2009年10月2日
	Type of Article	朝刊・夕刊の区別	朝刊
Web Page (Web サイト)	Title	タイトル	新制度の概要
	(Year)	発表年	2009
	URL	URL	http://www.a.jp
Case (判例・裁判例)	(Year Decided)	判決の出された年	2000
	(Case Name)	事件名	情報公開請求事件
	Reporter	判例集名	判例時報
	Court	裁判所・判決/決定	東京地判
	Reporter Volume	判例集の号数*	1714号
	First Page	判例集の頁数	3
	Date Decided	判決年月日**	2000年9月20日

\* Reporter Volume には○号（または○巻○号）と入力する必要があります。

\*\*和暦で入力すると和暦で表示されます（例：平成12年9月20日）。

#### ドイツ語文献の場合（括弧のついた項目は任意の入力フィールド）

Reference Type	入力フィールド	説明	入力例
Journal Article (雑誌論文)	Author	論文著者名*	Schmidt, Joachim
	(Year)	論文の発表年	2009
	Title	論文のタイトル	Verwaltungsakt
	Journal	雑誌名	DVBl.
	Volume	巻数**	2009
	Pages	ページ数	528-550
	(Start Page)	ページ数***	528
Book (著書)	Author	著者名*	Joachim Schmidt
	Year	著書の発表年	2009
	Title	著書名	Verwaltungsrecht
	(City)	出版地名	München
	(Publisher)	出版社名	Beck
	(Editor)	編者*	Wolfgang Wolff
	(Pages)	ページ数	15-20
	(Edition)	版数	2
Book Section (書籍収録論文)	Author	著者名*	Joachim Schmidt
	Year	発表年	2009
	Title	論文のタイトル	Verwaltungsakt

	(City)	出版地名	München
	(Publisher)	出版社名	Beck
	Editor	編者*	Wolff, Wolfgang
	Book Title	図書のタイトル	Verwaltungsrecht
	Publisher	出版社名	Beck
	(Series Volume)	シリーズの巻数	2
	(Series Title)	シリーズのタイトル	Handbuch der Verw.
	Pages	ページ数	528-550
Case (判例・裁判例)	(Year Decided)	判決の出された年	2000
	(Case Name)	事件名	Sozialhilfe
	Reporter	判例集名	NVwZ
	Court	裁判所	BVerfG
	Reporter Volume	判例集の号数**	2008
	First Page	判例集の頁数	3
	Decision	判決/決定の別	Urt.
	Date Decided	判決年月日	11.10.2007

\* 氏名の入力は 名 (スペース) 姓 または 姓 (コンマ) 名の形式になります。出力はどちらでも変わりません。

\*\* 巻数を表示しないことが慣例の雑誌 (例えば NJW, JZ など) では西暦の年数を, 巻数を表示することが慣例の雑誌 (例えば AöR, VVDStRL など) では巻数と西暦の年数を (例えば 31 (2009) のように) 入力します。

\*\*\* Pages と Start Page はどちらか一方だけを入力して下さい。Start Page を入力すると, 出力の際に自動的に ff. が付加されます。

### 入力のヒント

- 過去に入力したことがあるデータが入力候補として自動的に補完されます。外国人の氏名の場合には姓から入力しないとこの機能は使えません。
- 日本人の人名も 姓 (コンマ) 名 と入力することができます。ただし, この場合には出力の際に姓と名の間にスペースが空いてしまいます。
- Language の欄に日本語であれば jp, ドイツ語であれば de といった文字を入力することをお勧めします。Smart Group 機能を利用すると, こうした特定の文字があるレコードを Smart Group に自動的に振り分けることができます。

## 2. CiNii からのインポート

EndNote にはさまざまなテキストファイルからのデータインポート機能が搭載されています。ここでは, 文系研究者でも使うことが多い [CiNii](#) (国立情報学研究所の雑誌記事データベース) からのデータのインポートについて説明します。

## 手順

1. CiNii で論文を検索し、必要な文献にチェックを入れて EndNote に書き出しを選択し、実行を押します。

1 2 次へ

新しいウィンドウで開く  実行  すべてを選択 20件ずつ表示 出版年:新しい順 表示

- 1 附文化と税制 (特集 寄附税制の現状とあり方) 1  
011-05
- 2 財政法的規律の意義--「経済性の原則」の再定位 (特集 政府調達制度の法と経済 2  
藤谷 武史  
フィナンシャル・レビュー 2011年(3), 57-76, 2011-02
- 3 財政制度をめぐる法律学と経済学の交錯--法律学の立場から (特集 財政法の新たな展開--中里実東 3  
京大学大学院法学政治学研究科教授責任編集)  
藤谷 武史  
フィナンシャル・レビュー 2011年(2), 3-24, 2011-01
- 4 公法における「法と経済学」の可能性?--租税法の経験を手がかりに (特集「法と経済学」にふれよ 4  
う)  
藤谷 武史  
法学教室 (365), 16-24, 2011-02

2. データが EndNote に取り込まれます。EndNote を起動していない場合には直前に開かれていたファイルにデータがインポートされます。EndNote を起動している場合には、その時に開いているファイル（アクティブなファイル）にデータがインポートされます。必要に応じてデータを修正します。

### 3. タブ区切りテキストファイルからのインポート

テキストファイルの形式になっている手持ちの文献リストを EndNote にインポートすることができます。ただし形式を整える必要があるため、それほど簡単ではありません。

## 手順

1. テキストファイルの冒頭に、\*文献タイプ を入力し、次の行に、入力フィールドの名前をタブ区切りで入力します。

*Journal Article
Author Title Journal Volume Issue Year Pages

2. その次の行からは、各レコードを 2 行目に定義した入力フィールドの順番にタブ区切りにしていきます。

山田太郎	行政行為論	法政研究 (九州大学)	73	1	2008	123-155
------	-------	-------------	----	---	------	---------

改行でその行が 1 つのレコードと認識されます。最後のデータの後に改行をするのを忘れないで下さい。

3. テキストファイルを **ユニコード (UTF-8)** で保存します。それ以外の文字コードで保存すると、インポートの際に文字化けしてしまいます。

4. EndNote の File→Import→File を選択し、Import Option のところで Tab Delimited を選択します。Import Data File で Choose File を押し、さきほど保存したテキストファイルを選択します。Import ボタンを押すと、データがインポートされます。

### 操作のヒント

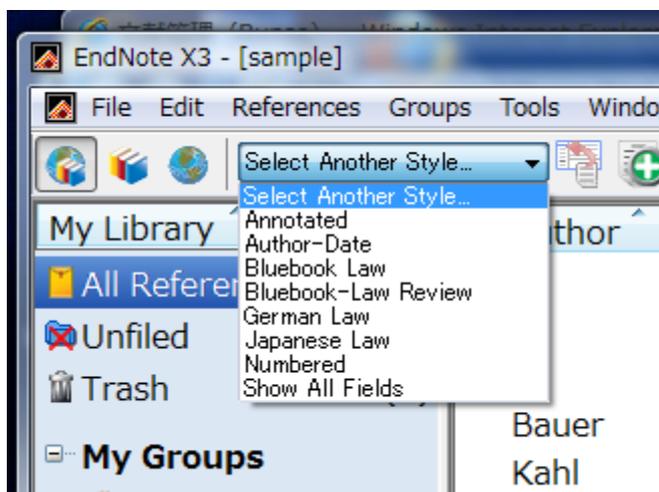
- RefWorks からのデータインポートの場合には Import Option で Reference Manager (RIS)を選択します。また別のパソコンの EndNote のデータの一部をインポートするには、Export で xml 形式を選択して保存し、Import の際には Import Option で EndNote generated XML を選択します。
- Bunso のデータをインポートするには、[法学文献テンプレート \(4.0・zip 形式のみ\)](#) に含まれている Excel マクロの copybunso.xlsx を使い、Excel ファイルに Bunso の文献データを読み出し、CSV 形式で保存します。その上で上記の操作を行って取り込むことになります。

## III. 文献データの出力

文献データの出力方法として考えられるのは、文献リストの作成と、論文での引用です。EndNote 法学文献パックは Cite While You Write 機能にも対応しています。

### 1. 文献リストの作成

文献リストを作成するには、スタイルファイルを選択する必要があります。



ツールボックスのスタイル選択の部分で Select Another Style を押し、出てくるダイアログの中で Japanese Law または German Law を選択します。その上で任意のレコードを選択すると、画面の下のプレビューの部分に、そのスタイルファイルに応じたスタイルで文献のデータが表示されます。

複数の文献レコードから文献リストを作成する方法はいくつかあります。一番簡単なのは、レコードを選択して右クリックし、Copy formatted を選択する方法です。

複数のレコードを選択してこの操作をすることもできます。あるいは File→Export でスタイルファイルを指定すると、その形式で文献リストがテキストファイルとして作成されます。

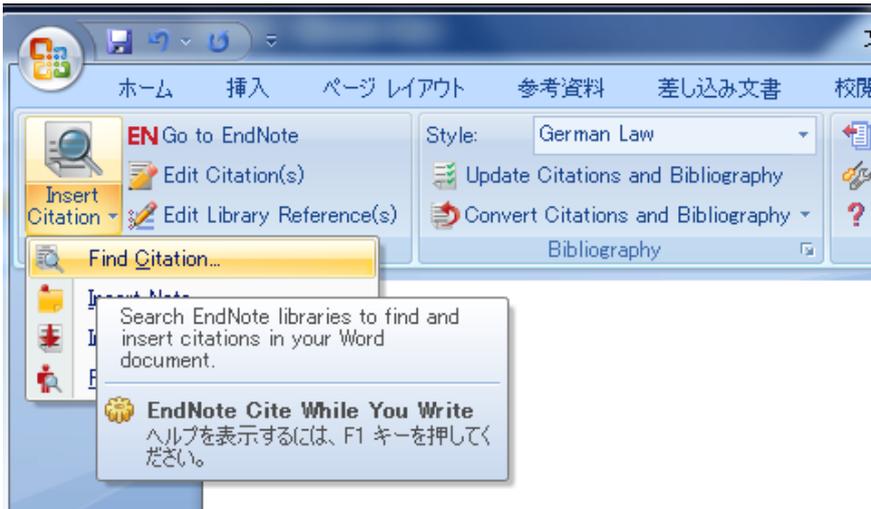
特定の条件を満たす文献リストは、Tools→Subject Library で条件を指定すると作成可能です。

### 2. Word との連携 (Cite While You Write 機能)

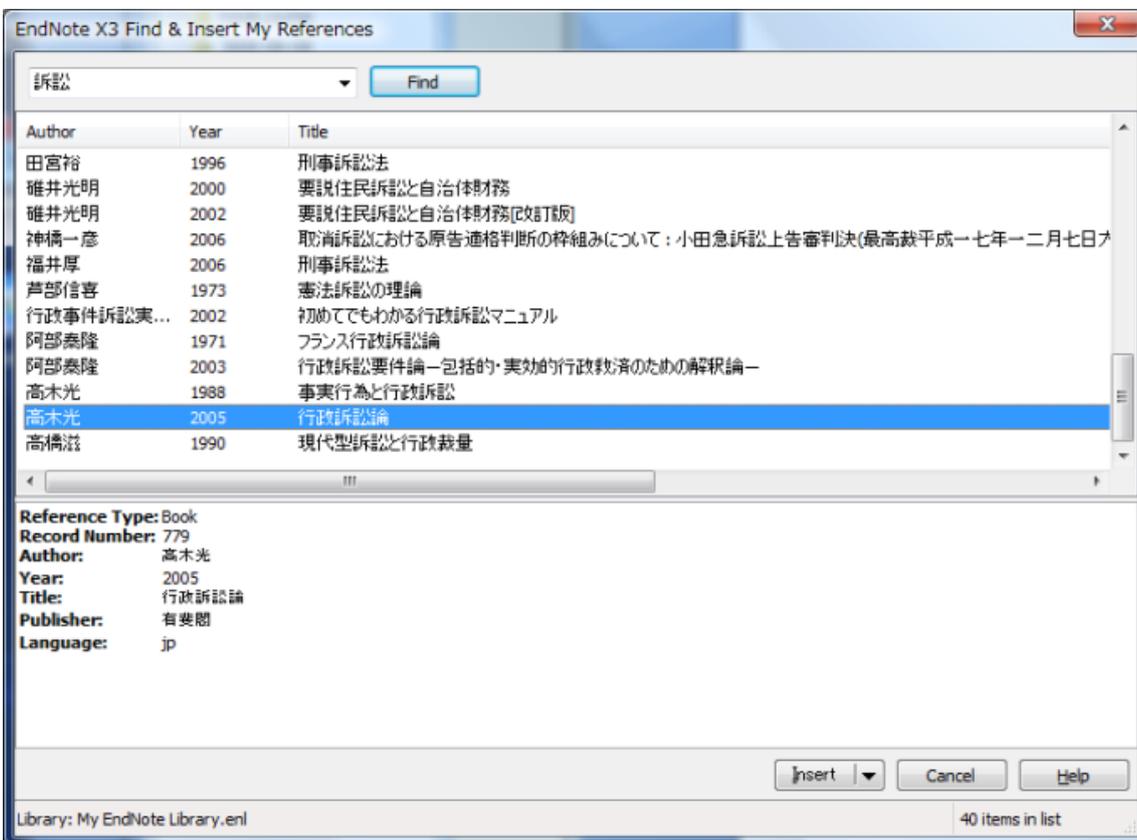
Word 連携の一般的な手順は、USACO ホームページのヘルプファイルをご覧ください。ここでは法学文献パックでのこの機能の使用に関して必要な点だけを説明します。

#### 手順

1. 脚註を挿入し、脚註エリアにカーソルを移動します。EndNote X5 タブの Insert Citation をクリックします。



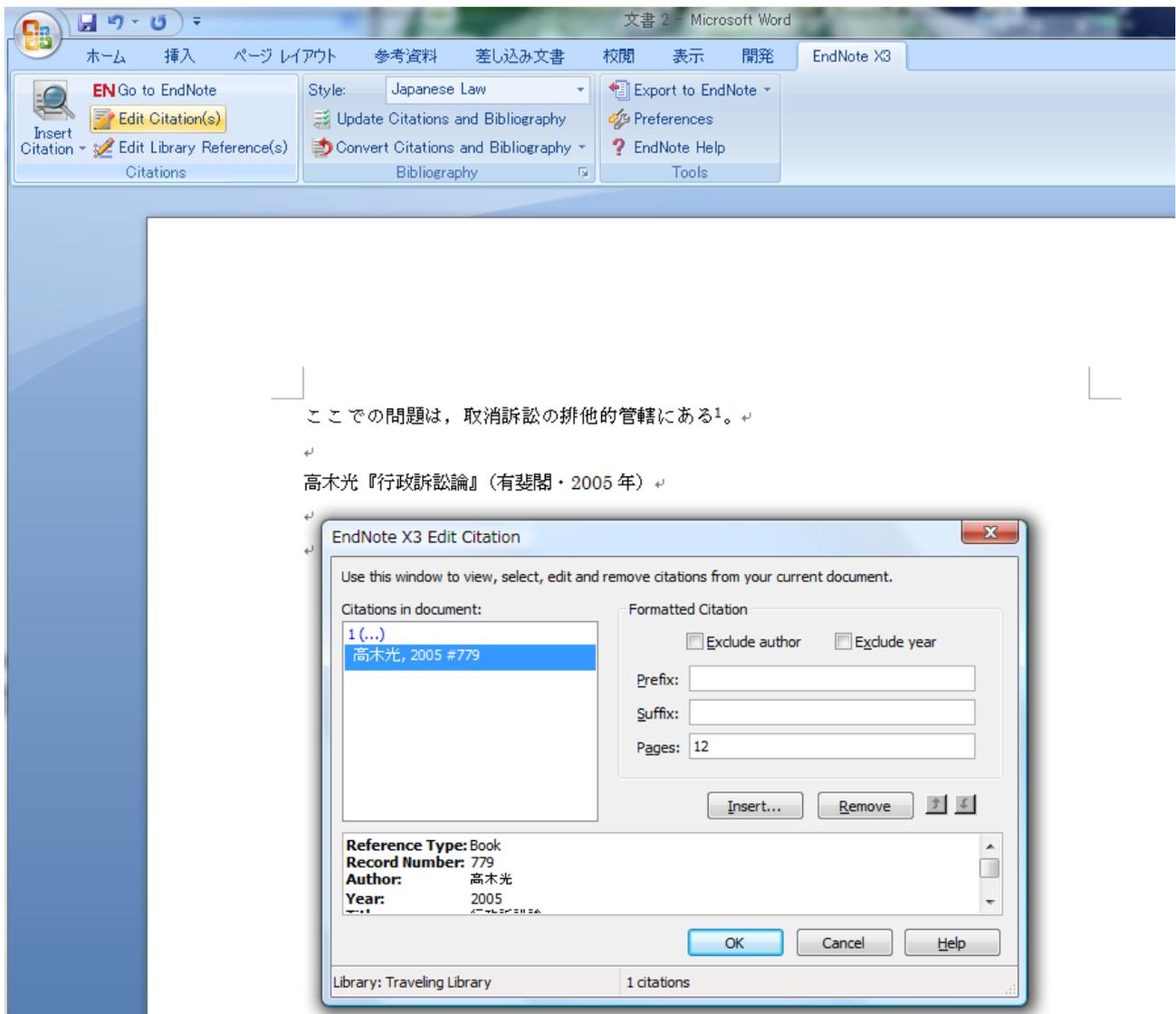
2. Find Citation を選択すると次のようなダイアログが出てきます。必要な文献を検索して Insert を押します。



3. 次のように表示されます。もしこのように表示されなかったら、EndNote のツールバーの Style を Japanese Law に変更して下さい。

1 高木光 『行政訴訟論』 (有斐閣・2005 年)

4. 参照する頁を入力するには、EndNote ツールバーの Edit Citation(s) を押します。



5. この状態で OK を押すと、脚註の表示が次のようになります。

<sup>1</sup> 高木光 『行政訴訟論』(有斐閣・2005年) 12頁

操作のヒント

- 脚註ではなく本文中で Find Citation→Insert をすると、（著者名，発表年）のような形式で表示されます。Edit Citation(s)で頁数を入力すると、（著者名，発表年，頁数）のように表示されます。

ここでは原告適格が問題なのである(村上裕章, 2007, 15 頁)。

↵

村上裕章『行政訴訟の基礎理論』（有斐閣・2007年）

↵

- 参考文献リスト部分（本文の最後）は Edit Citation(s)で頁数を入力してもその結果が反映されません。
- 最終的には、Convert Citations and Bibliography の Convert to Plain Text を選択し、EndNote のフィールドをすべて通常のテキストに変換する必要があります。参考文献リスト部分が不要の場合には、この変換作業の後で当該部分を削除して下さい。
- **Word 連携で使用できるスタイルは 1 つだけ**です。そのため、同じ論文の中で日本語文献のスタイルとドイツ語文献のスタイルが混在する場合には、上記の Convert 作業を 2 つのスタイルで別々に行い、できたファイルを手作業で調整する必要があります。文献の量が増えると非効率的になるため、同じ論文を投稿規定が異なる複数の媒体に掲載するといった事情がない限りこの方法はおすすめできません。
- ドイツ語文献についても操作の仕方は同じです。Style で German Law を選択して下さい。

---

<sup>1</sup> Ulrich Scheuner, Das Gesetz als Auftrag der Verwaltung, DÖV 1969, S.585-593 (591).

<sup>2</sup> Christian Waldhoff, Vollstreckung und Sanktionen, in: Wolfgang Hoffmann-Riem/Eberhard Schmidt-Aßmann/Andreas Voßkuhle (Hrsg.), Grundlagen des Verwaltungsrechts Bd.3, Personal - Finanzen - Kontrolle - Sanktionen - Staatliche Einstandspflichten, 2009, S.269-423 (302-05).

## おわりに

EndNote 法学文献パックはフリーウェアです。再配布・改変も自由です。よりよいスタイルファイルができた際にはお知らせいただくと幸いです。

原田大樹 (harada@law.kyushu-u.ac.jp)